感染症発生動向調査
2020年第48週
（11月23日～11月29日）

京都市感染症週報

京都市感染症情報センター
（ 京都市衛生環境研究所 ）

http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000175159.html

◆ 今週のコメント

・ 新型コロナウイルス感染症の報告が102例（男性48例（20歳代12例，30歳代12例，40歳代12例，50歳代5例，60歳代2例，70歳代5例），女性54例（10歳代3例，20歳代11例，30歳代7例，40歳代7例，50歳代7例，60歳代3例，70歳代8例，80歳代3例，90歳代4例，年齢非公開1例））あり，累積報告数は1,858例となりました。
本感染症の最新の動向及び詳細については下記URLをご参照ください。
〇新型コロナウイルス感染症　最新の動向
https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html

・ **カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症**の報告が3例（50歳代，70歳代，80歳代男性各1例）（全て第47週追加分）ありました。本年の累積報告数は34例となりました。

・ **侵襲性インフルエンザ菌感染症**の報告が1例（60歳代女性）あり，症状は発熱・菌血症です。感染地域は国内で，感染経路は不明です。本年の累積報告数は4例となりました。

・ **バンコマイシン耐性腸球菌感染症**の報告が1例（50歳代男性）あり，症状は発熱・腹膜炎・菌血症です。感染地域は国内です。本年の累積報告数は4例となりました。

・ **百日咳**の報告が1例（10歳未満男性）あり，症状は持続する咳，ウープです。感染地域は国内，感染経路は不明です。本年の累積報告数は18例となりました。

・ **インフルエンザ**は，例年12月頃から流行が始まります。現状では京都市で流行の兆しは見られませんが，流行に備えて予防を心がけましょう。予防策としては，手洗い，うがいなどの一般的な衛生行動が重要です。
京都市衛生環境研究所ではインフルエンザの発生状況をグラフや地図で公表しています。
〇インフルエンザの発生状況（衛生環境研究所）
http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000102856.html

◆ 今週のトピックス：＜侵襲性インフルエンザ菌感染症＞

京都市の侵襲性インフルエンザ菌感染症は第48週に1例の報告があり，本年累積報告数は4例となりました。
2013年4月1日に5類全数把握疾患に追加されて以降の累積報告数は44例となっています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

・ **二類：結核 4例（肺結核 3例，その他結核 1例，潜在性結核感染者 なし）うち喀痰塗抹陽性 1例）**
【1月以降の累積報告数 234例（肺結核 107例，その他結核 51例，潜在性結核感染者 76例）うち喀痰塗抹陽性 49例】
・ **指定感染症：新型コロナウイルス感染症 102例**【1月以降の累積報告数 1,858例】
・ **五類：カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 3例**【1月以降の累積報告数 34例】
・ **五類：侵襲性インフルエンザ菌感染症 1例**【1月以降の累積報告数 4例】
・ **五類：バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1例**【1月以降の累積報告数 4例】
・ **五類：百日咳 1例**【1月以降の累積報告数 18例】

定点把握の主な感染症

（市内定点数　インフルエンザ定点69，小児科定点43，眼科定点10，基幹定点1）

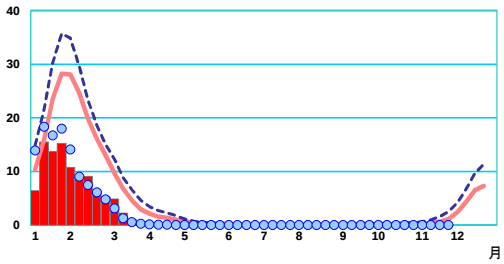
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ	インフルエンザ	0．00	0
小児科	① 感染性胃腸炎	1．16	50
（降順5位まで）	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0．70	30
	③ 突発性発しん	0．33	14
	④ 咽頭結膜熱	0．16	7
	④ 水痘	0．16	7
眼科	流行性角結膜炎	0．10	1

【次ページ以降の主な内容】
発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス：＜侵襲性インフルエンザ菌感染症＞
付表（疾病，行政区別報告数 / 年齢階級，疾病別報告数 / 週，疾病別報告数）

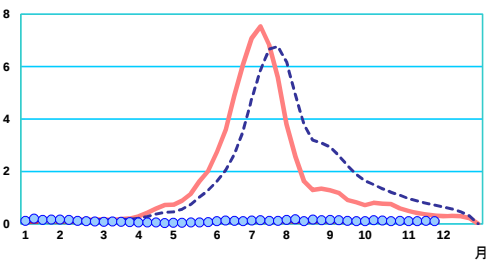
（ 注 ）京都市のデータは，2020年12月2日現在の報告数で，全国の還元データと若干異なる場合があります。
また，本情報での患者数は，届出医療機関所在地での集計で，患者の住所を示すものではありません。
※感染地域及び感染経路については推定を含みます。

ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2020年）

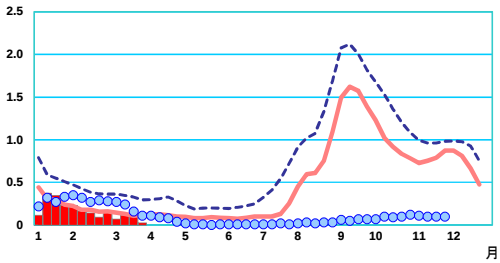
インフルエンザ



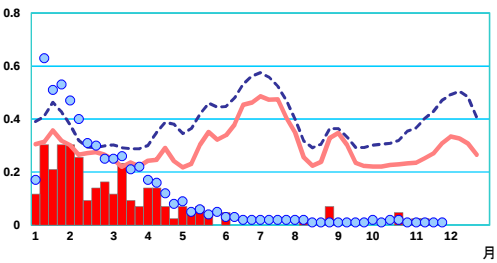
手足口病



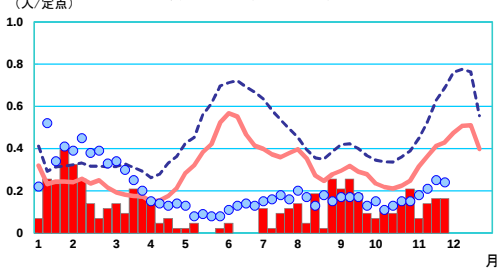
RSウイルス感染症



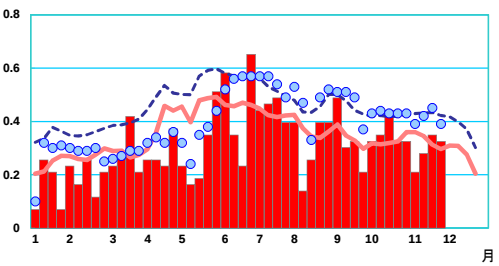
伝染性紅斑（りんご病）



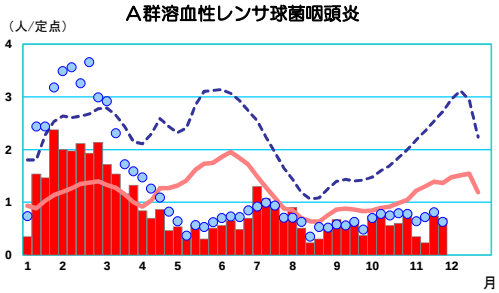
咽頭結膜熱（プール熱）



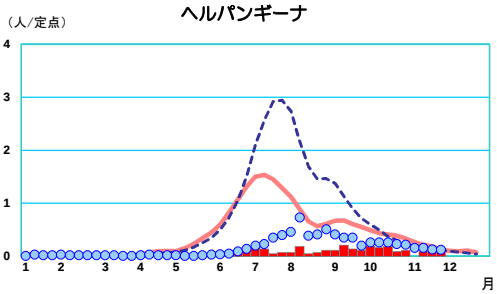
突発性発しん



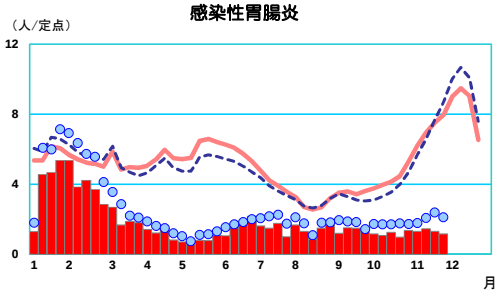
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



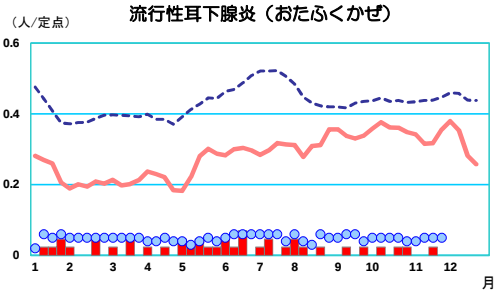
ヘルパンギーナ



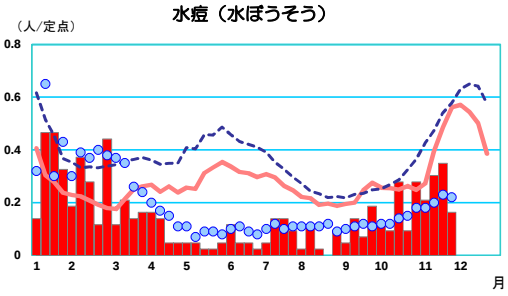
感染性胃腸炎



流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）



水痘（水ぼうそう）

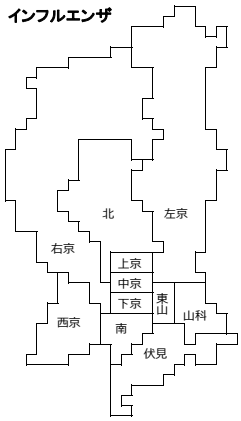


インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図　【２０２０年 第 48 週】

発生なし
発生あり
注意報
警報
（注意報及び警報の基準値は感染症右側に表示（「-」は設定なし））

※定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。
したがいまして，定点当たり報告数は医療機関の「立地条件」や「規模の大小の影響を受ける場合がありますので，ご注意ください。

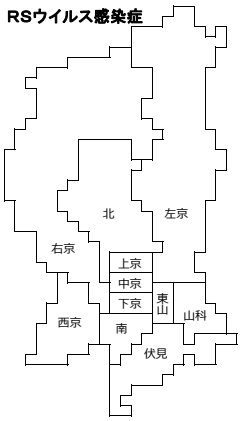
インフルエンザ



警報開始 30
警報終息 10
注意報 10

京都市 0.00	
北	0
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0
山科	0
下京	0
南	0
右京	0
伏見	0
西京	0

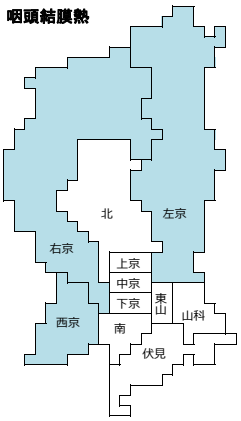
RSウイルス感染症



警報開始 -
警報終息 -
注意報 -

京都市 0.00	
北	0
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0
山科	0
下京	0
南	0
右京	0
伏見	0
西京	0

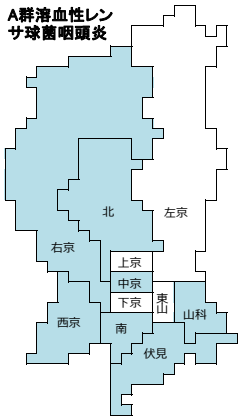
咽頭結膜熱



警報開始 3
警報終息 1
注意報 -

京都市 0.16	
北	0
上京	0
左京	0.25
中京	0
東山	0
山科	0
下京	0
南	0
右京	1.00
伏見	0
西京	0.20

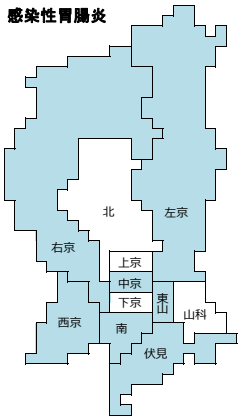
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



警報開始 8
警報終息 4
注意報 -

京都市 0.70	
北	0.25
上京	0
左京	0
中京	1.00
東山	0
山科	0.20
下京	0
南	0.67
右京	2.60
伏見	0.14
西京	1.80

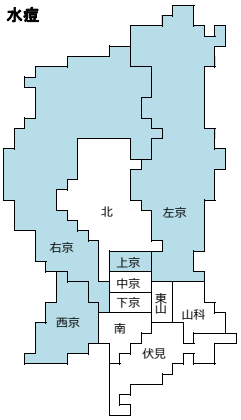
感染性胃腸炎



警報開始 20
警報終息 12
注意報 -

京都市 1.16	
北	0
上京	0
左京	1.75
中京	1.00
東山	4.00
山科	0
下京	0
南	1.00
右京	0.20
伏見	3.43
西京	0.80

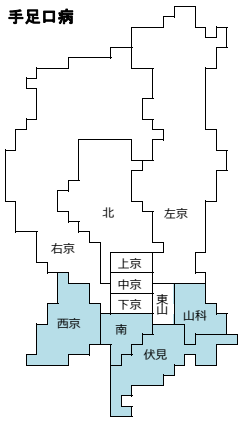
水痘



警報開始 2
警報終息 1
注意報 1

京都市 0.16	
北	0
上京	0.33
左京	0.25
中京	0
東山	0
山科	0
下京	0
南	0
右京	0.40
伏見	0
西京	0.60

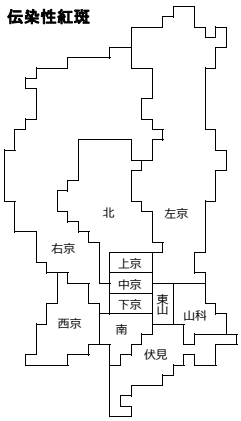
手足口病



警報開始 5
警報終息 2
注意報 -

京都市 0.14	
北	0
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0
山科	0.40
下京	0
南	0.33
右京	0
伏見	0.29
西京	0.20

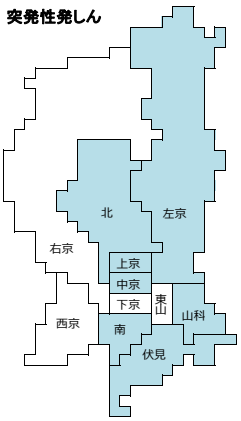
伝染性紅斑



警報開始 2
警報終息 1
注意報 -

京都市 0.00	
北	0
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0
山科	0
下京	0
南	0
右京	0
伏見	0
西京	0

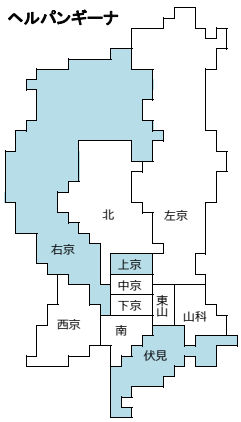
突発性発しん



警報開始 -
警報終息 -
注意報 -

京都市 0.33	
北	0.25
上京	0.33
左京	0.50
中京	0.33
東山	0
山科	0.40
下京	0
南	0.33
右京	0
伏見	0.86
西京	0

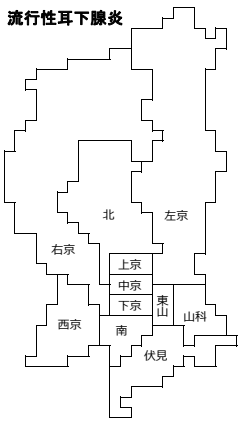
ヘルパンギーナ



警報開始 6
警報終息 2
注意報 -

京都市 0.09	
北	0
上京	0.67
左京	0
中京	0
東山	0
山科	0
下京	0
南	0
右京	0.20
伏見	0.14
西京	0

流行性耳下腺炎



警報開始 6
警報終息 2
注意報 3

京都市 0.00	
北	0
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0
山科	0
下京	0
南	0
右京	0
伏見	0
西京	0

第48週（11月23日～11月29日）トピックス：＜侵襲性インフルエンザ菌感染症＞

京都市の侵襲性インフルエンザ菌感染症は第48週に1例の報告があり，本年累積報告数は4例となりました。2013年4月1日に5類全数把握疾患に追加されて以降の累積報告数は44例となっています（表1）。

京都市のみでは症例数が少なく経年的な傾向はわかりにくいですが，全国を見ると，報告数は昨年まで年々増加しており，昨年は集計を取り始めて以来最も多く543例が報告されました。本年は，3月上旬まで昨年あるいは一昨年と同様に報告数が増加していましたが，3月中旬以降，増加はゆるやかになり，累積報告数は第48週で237例にとどまっています。過去の推移が季節に関わらずほぼ直線的に増加していたのに対して，本年は異なった推移を示しています（表1及び図1）。

男女別構成割合では，各年で男性が51.5%から65.7%，女性が34.3%から48.5%と，男性がやや多い傾向があります（表1）。

全国のこれまでの報告数合計2,512例を年齢階級別でみると，最も多いのは70歳以上で58.3%と6割近くを占め，次いで60歳代が12.4%で，60歳以上で全体の7割を超えています。一方，0歳が4.1%，1～4歳が7.3%で4歳までで1割以上となっており，4歳以下の低年齢層と60歳以上の比較的高年齢層で報告数が多くなっています（図2）。

本疾患はインフルエンザ菌による感染症のうち，菌血症，菌血症を伴う肺炎，髄膜炎を主症状とする侵襲性感染症（本来無菌的な部位に菌が侵入することで起こる疾患）です。5歳未満の乳幼児では成人に比べ，髄膜炎を発症することが多く，この場合，死亡率は3～6%，聴力障害を含む後遺症が約20%に残るとされています。このため，乳幼児に対して，インフルエンザ菌の中でも，最も病原性が高いb型（ヒブ）に対するHibワクチンが2013年4月から定期接種化されました。標準的なスケジュールは，生後2箇月から7箇月までに初回を開始し，合計4回接種します。ワクチン接種により重篤な症状を引き起こすリスクを95%以上減らすことができるとされています。新型コロナウイルス感染症の流行状況に関わらず，予防接種は適切に受けるようにしましょう。詳細は下記ホームページを参照して下さい。

○京都市情報館「京都市が実施する子どもの定期予防接種について」（協力医療機関名簿も掲載されています）
http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000130799.html

表１　京都市及び全国の報告数の推移

		2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020（第48週まで）
京都市	男	0	3	5	6	1	3	6	3
	女	2	0	1	4	2	4	3	1
	合計	**2**	**3**	**6**	**10**	**3**	**7**	**9**	**4**
全国（カッコ内は男女別割合）	**男**	71 (65.7%)	113 (56.5%)	154 (61.1%)	186 (59.6%)	221 (59.4%)	276 (56.6%)	294 (54.1%)	122 (51.5%)
	女	37 (34.3%)	87 (43.5%)	98 (38.9%)	126 (40.4%)	151 (40.6%)	212 (43.4%)	249 (45.9%)	115 (48.5%)
	合計	**108**	**200**	**252**	**312**	**372**	**488**	**543**	**237**

図１　全国の累積報告数（2013年～2020年第48週）

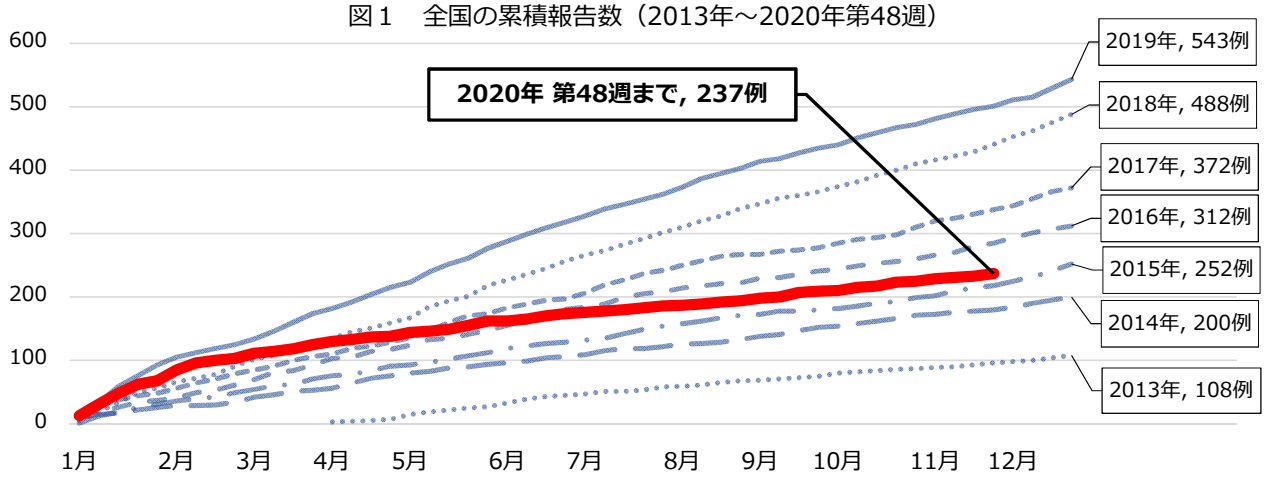
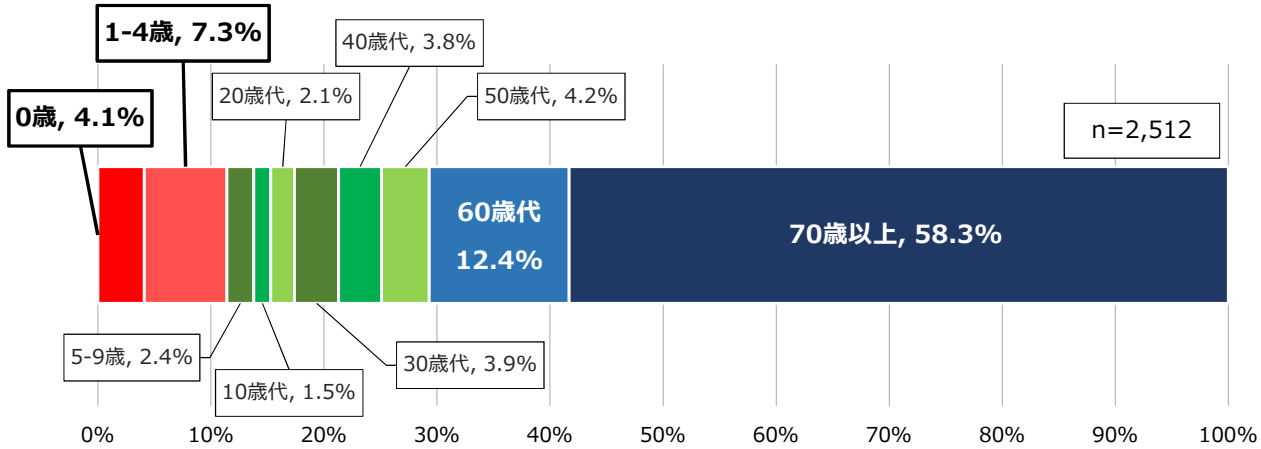


図２　全国の年齢階級別割合（2013年～2020年第48週）



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第48週

疾病,行政区別報告数　　2020年11月23日～2020年11月29日　　データ入手日:2020年12月2日

男女合計	インフルエンザ（※1）	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎（※2）	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（※3）	感染性胃腸炎（※4）
北	－	－	－	1	－	－	－	－	1	－	－	－	－					
上京	－	－	－	－	－	1	－	－	1	2	－	－	－					
左京	－	－	1	－	7	1	－	－	2	－	－	－	－					
中京	－	－	－	3	3	－	－	－	1	－	－	－	1	－	－	－	－	－
東山	－	－	－	－	8	－	－	－	－	－	－							
山科	－	－	－	1	－	－	2	－	2	－	－	－	－					
下京	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－							
南	－	－	－	2	3	－	1	－	1	－	－							
右京	－	－	5	13	1	2	－	－	－	1	－	－	－					
伏見	－	－	－	1	24	－	2	－	6	1	－	－	－					
西京	－	－	1	9	4	3	1	－	－	－	－	－	－					
京都市計	－	－	7	30	50	7	6	－	14	4	－	－	1	－	－	－	－	－

疾病,行政区別定点当たり報告数

男女合計	インフルエンザ（※1）	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎（※2）	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（※3）	感染性胃腸炎（※4）
北	－	－	－	0.25	－	－	－	－	0.25	－	－	－	－					
上京	－	－	－	－	－	0.33	－	－	0.33	0.67	－	－	－					
左京	－	－	0.25	－	1.75	0.25	－	－	0.50	－	－	－	－					
中京	－	－	－	1.00	1.00	－	－	－	0.33	－	－	－	0.50	－	－	－	－	－
東山	－	－	－	－	4.00	－	－	－	－	－	－							
山科	－	－	－	0.20	－	－	0.40	－	0.40	－	－	－	－					
下京	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－							
南	－	－	－	0.67	1.00	－	0.33	－	0.33	－	－							
右京	－	－	1.00	2.60	0.20	0.40	－	－	－	0.20	－	－	－					
伏見	－	－	－	0.14	3.43	－	0.29	－	0.86	0.14	－	－	－					
西京	－	－	0.20	1.80	0.80	0.60	0.20	－	－	－	－	－	－					
京都市計	－	－	0.16	0.70	1.16	0.16	0.14	－	0.33	0.09	－	－	0.10	－	－	－	－	－

※1　インフルエンザは，鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが，新型インフルエンザのうち，A/H1N1については含む。
※2　細菌性髄膜炎は髄膜炎菌，肺炎球菌，インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。
※3　クラミジア肺炎はオウム病を除く。
※4　感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3202

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第48週

年齢階級, 疾病別報告数

2020年11月23日～2020年11月29日

データ入手日:2020年12月2日

京都市 男女合計	年齢1 年齢2 年齢3 年齢4	総数 総数 総数 総数	～5ケ月 ～5ケ月 ～5ケ月 0歳	～11ケ月 ～11ケ月 ～11ケ月 1歳-	1歳 1歳 1歳 5歳-	2歳 2歳 2歳 10歳-	3歳 3歳 3歳 15歳-	4歳 4歳 4歳 20歳-	5歳 5歳 5歳 25歳-	6歳 6歳 6歳 30歳-	7歳 7歳 7歳 35歳-	8歳 8歳 8歳 40歳-	9歳 9歳 9歳 45歳-	10歳- 10歳- 10歳- 50歳-	15歳- 15歳- 15歳- 55歳-	20歳- 20歳- 20歳以上 60歳-	30歳- 30歳- 65歳-	40歳- 40歳- 70歳以上	50歳- 50歳-	60歳- 60歳-	70歳- 70歳以上	80歳以上
インフルエンザ (※1)	年齢1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
RSウイルス感染症	年齢3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
咽頭結膜熱	年齢3	7	－	－	4	2	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢3	30	－	－	4	6	－	8	3	3	1	－	－	4	－	1	－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎	年齢3	50	3	7	8	4	4	2	2	3	1	3	2	4	1	6	－	－	－	－	－	－
水痘	年齢3	7	－	－	－	1	1	1	1	2	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
手足口病	年齢3	6	－	－	4	－	1	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
伝染性紅斑	年齢3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
突発性発しん	年齢3	14	－	5	7	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ヘルパンギーナ	年齢3	4	－	－	1	1	1	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
流行性耳下腺炎	年齢3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
急性出血性結膜炎	年齢2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎	年齢2	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
クラミジア肺炎 (※3)	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎 (※4)	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市 男女合計	年齢1 年齢2 年齢3 年齢4	総数 総数 総数 総数	～5ケ月 ～5ケ月 ～5ケ月 0歳	～11ケ月 ～11ケ月 ～11ケ月 1歳-	1歳 1歳 1歳 5歳-	2歳 2歳 2歳 10歳-	3歳 3歳 3歳 15歳-	4歳 4歳 4歳 20歳-	5歳 5歳 5歳 25歳-	6歳 6歳 6歳 30歳-	7歳 7歳 7歳 35歳-	8歳 8歳 8歳 40歳-	9歳 9歳 9歳 45歳-	10歳- 10歳- 10歳- 50歳-	15歳- 15歳- 15歳- 55歳-	20歳- 20歳- 20歳以上 60歳-	30歳- 30歳- 65歳-	40歳- 40歳- 70歳以上	50歳- 50歳-	60歳- 60歳-	70歳- 70歳以上	80歳以上
インフルエンザ (※1)	年齢1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
RSウイルス感染症	年齢3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
咽頭結膜熱	年齢3	0.16	－	－	0.09	0.05	－	－	－	－	－	－	0.02	－	－	－	－	－	－	－	－	－
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢3	0.70	－	－	0.09	0.14	－	0.19	0.07	0.07	0.02	－	－	0.09	－	0.02	－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎	年齢3	1.16	0.07	0.16	0.19	0.09	0.09	0.05	0.05	0.07	0.02	0.07	0.05	0.09	0.02	0.14	－	－	－	－	－	－
水痘	年齢3	0.16	－	－	－	0.02	0.02	0.02	0.02	0.05	－	0.02	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
手足口病	年齢3	0.14	－	－	0.09	－	0.02	－	0.02	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
伝染性紅斑	年齢3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
突発性発しん	年齢3	0.33	－	0.12	0.16	0.05	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ヘルパンギーナ	年齢3	0.09	－	－	0.02	0.02	0.02	－	－	－	－	0.02	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
流行性耳下腺炎	年齢3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
急性出血性結膜炎	年齢2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎	年齢2	0.10	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.10	－	－	－	－	－	－
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
クラミジア肺炎 (※3)	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎 (※4)	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

※1　インフルエンザは, 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが, 新型インフルエンザのうち, A/H1N1については含む。
※2　細菌性髄膜炎は髄膜炎菌, 肺炎球菌, インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。
※3　クラミジア肺炎はオウム病を除く。
※4　感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第48週

週, 疾病別報告数　　データ入手日:2020年12月2日

京都市　　男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	1	–	–	–	1	–
RSウイルス感染症	–	–	–	–	–	–
咽 頭 結 膜 熱	6	9	3	6	7	7
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	26	35	15	10	32	30
感染性胃腸炎	42	58	56	62	56	50
水　　痘	4	12	9	13	15	7
手 足 口 病	–	–	3	7	3	6
伝 染 性 紅 斑	2	–	1	1	–	–
突発性発しん	14	14	9	12	15	14
ヘルパンギーナ	4	5	–	4	4	4
流行性耳下腺炎	1	1	–	–	1	–
急性出血性結膜炎	–	–	–	–	–	–
流行性角結膜炎	1	–	–	1	1	1
細菌性髄膜炎 (※2)	–	–	–	–	–	–
無菌性髄膜炎	–	–	–	–	–	–
マイコプラズマ肺炎	–	–	–	–	–	–
クラミジア肺炎 (※3)	–	–	–	–	–	–
感染性胃腸炎 (※4)	–	–	–	–	–	–
合　　計	101	134	96	116	135	119

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市　　男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	0.01	–	–	–	0.01	–
RSウイルス感染症	–	–	–	–	–	–
咽 頭 結 膜 熱	0.14	0.21	0.07	0.14	0.16	0.16
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.60	0.81	0.35	0.23	0.74	0.70
感染性胃腸炎	0.98	1.35	1.30	1.44	1.30	1.16
水　　痘	0.09	0.28	0.21	0.30	0.35	0.16
手 足 口 病	–	–	0.07	0.16	0.07	0.14
伝 染 性 紅 斑	0.05	–	0.02	0.02	–	–
突発性発しん	0.33	0.33	0.21	0.28	0.35	0.33
ヘルパンギーナ	0.09	0.12	–	0.09	0.09	0.09
流行性耳下腺炎	0.02	0.02	–	–	0.02	–
急性出血性結膜炎	–	–	–	–	–	–
流行性角結膜炎	0.10	–	–	0.10	0.10	0.10
細菌性髄膜炎 (※2)	–	–	–	–	–	–
無菌性髄膜炎	–	–	–	–	–	–
マイコプラズマ肺炎	–	–	–	–	–	–
クラミジア肺炎 (※3)	–	–	–	–	–	–
感染性胃腸炎 (※4)	–	–	–	–	–	–
合　　計	2.42	3.12	2.23	2.77	3.21	2.84

※1　インフルエンザは, 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが, 新型インフルエンザのうち, A/H1N1については含む。

※2　細菌性髄膜炎は髄膜炎菌, 肺炎球菌, インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3　クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4　感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。